

教委だより

No.435



令和4年7月21日

編集発行 富山県教育委員会
発行人 教育企画課長



教育長の訓辞



辞令を受け取る宮本一輝教諭



辞令を受け取る谷内剣教諭



宣誓を行う高田真優教諭

新規採用教職員364名に辞令交付

県の新規採用教職員辞令交付式が3月31日（木）に富山県教育文化会館で行われ、364名が教職員としての第一歩を踏みだしました。

式では、代表者の宮本一輝教諭（砺波市立出町中学校）と谷内剣教諭（高岡高等学校）が辞令を受け取った後、高田真優教諭（富山市立大庄小学校）が「全体の奉仕者として、誠実かつ公正に職務を執行する」と宣誓しました。

荻布教育長は、「フレッシュな感性や積極的な行動力を存分に発揮し、失敗を恐れず、いろいろなことに積極的に立ち向かってもらいたい」と訓辞しました。

●令和4年度 採用状況は次のとおりです。

◆教員(養護教諭9名、栄養教諭4名を含む)	353名
小学校	164名
中学校	96名
義務教育学校	5名
高等学校	35名
特別支援学校	53名
◆実習助手	8名
◆寄宿舎指導員	3名
◇合計	364名

Contents (主な内容)

- 新規採用教職員辞令交付式 1p
- 就任のあいさつ 2p
- 新任室課長のあいさつ 3p
- 第3期富山県教育振興基本計画について 4p
- 教育長訓示 5p
- とやま科学オリンピック2022 5p
- 親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室 5p
- 総合教育センターNOW 6p
- 令和5年度富山県公立学校教員採用選考検査の実施について 7p
- とやま親まなび推進協議会 7p
- 令和4年度富山県立高等学校定時制入学者選抜について 8p
- 「高志の国文学」情景作品コンクール作品募集 8p

- みんなで食育の充実を 9p
- ストレスチェックについて 10p
- インフォメーション 10～12p
 - 埋蔵文化センター出前講座
 - 富山県民謡民舞大会「ふるさと民謡民舞まつり」
 - 第34回 県民カレッジ学遊祭
 - 令和4年度県民カレッジ富山地区センター学遊祭
 - 第22回 新川キャンパスフェスティバル
 - 令和4年度 ウイング・ウイング祭
 - 第22回となみキャンパスフェスティバル
 - 放送大学10月入学生募集
- 第39回「とやま賞」贈呈式 12p

就任のあいさつ



真の人間力を育む教育のために

理事・教育次長 広 沢 久 也

このたび理事・教育次長に就任しました広沢です。もとより微力ですが、富山県教育の発展のため全力を尽くしてまいります。

さて、わが国の教育は、いま大きな変革の流れの中にあります。昨年1月の中教審答申をふまえ、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現のため、学校における働き方改革やGIGAスクール構想の実現、新学習指導要領の着実な実施など、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して様々な取り組みが進められています。

本県においても、この3月に第3期教育振興基本計画を策定し、教育の振興を通してすべての県民が生き生きと自分らしく暮らせる「真の幸せ(ウェルビーイング)」の向上をめざすことを、基本理念に新たに加えました。「課題解決型の教育」の展開や、「ICT教育」の推進など3つの横断的な取り組み、「プロジェクト学習の推進」、「働き方改革の推進」など10の重要テーマを掲げ、様々な施策に取り組むこととしています。

変化の激しい予測困難な時代ですので、どんな困難な状況にもひるまず、解決すべき課題を主体的に考え、マイナスをプラスに変える解決策を生み出していける資質や能力が求められています。

教育県富山の良き伝統をしっかりと受け継ぎ、発展させながら、未来を担う子どもたちの真の人間力を育むため、教育環境の整備に精一杯取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。



カムカムスマイル

教育次長 中 崎 健 志

「カムカムエブリバディ」のヒロイン役を演じた深津絵里さんが、あるCMに33年ぶり出演しました。電車出張し、打ち合わせを終えた会社の前で、マスクを外して笑顔で手を振りながら挨拶をするシーンが印象的です。学校でもこの2年あまりマスクをする生活が続いており、児童生徒の笑顔を見ることが少なくなりました。

教育次長に就任しました中崎です。イラストは身分証の裏面に入っている似顔絵(家族からの還暦のお祝い)です。あるお店の支配人から「今、経営は厳しいが気持ちを明るく持ち、笑顔でお客様をお迎えしたいと思い、笑顔の写真の名札をつけるようにした」という話を聞き、私もこの4月から始めました。

学校は、これからの未来を担っていく子供たちにとって大切な場所です。いじめや不登校、教員の働き方改革など、さまざまな課題はありますが、それでも、それだからこそ笑顔あふれる場所でありたいものです。

「幸せだから笑うのではない。笑うから幸せなのだ」という言葉もあります。課題にぶち当たったときこそ、まずは笑ってみましょう。マスクをはずした児童生徒たちの笑顔が見られる日が一日も早く来ることを、願わずにはられません。

子供たち、学校で働く教職員、それを支える教育委員会。それぞれの「真の幸せ(ウェルビーイング)」の向上のため、精一杯努めていきますので、皆さん、ご協力よろしくお願いいたします。



新任室課長のあいさつ



ウエルビーイング(真の幸せ)を実現する教育を目指して

参事・教育企画課長 坂 林 根 則

私が教職員課から転出した令和2年3月に県内初の新型コロナウイルス感染者が確認されて以降今日に至るまで、多くの学校行事が中止される一方、一人1台端末を活用したオンライン授業が実施されるなど教育環境は大きく変化しています。

こうした中、昨年度策定した第3期富山県教育振興基本計画では、教育を通して目指す社会姿の1つとして、すべての県民が生き生きと自分らしく暮らせる「真の幸せ(ウエルビーイング)」の向上を掲げ、9つの基本方針に基づいた様々な取組みを進めていくこととしています。

教育企画課では、ウエルビーイング(真の幸せ)の向上を実現する教育を目指した取組みの基盤となる学校施設やICT環境の整備、STEAM教育の先駆けとも言える「とやま科学オリンピック」の開催などハード・ソフト両面からの環境整備に取り組んでまいります。何卒よろしくお願ひします。



子どもたちと向き合う時間の確保に向けて

教職員課長 板 倉 由 美 子

教職員課は、教職員の任免、給与、服務、採用に関する事務等を所掌しており、本県の教育を担う組織が、円滑かつ効率的に機能するようサポートしていくことが役割であると考えています。

本県の未来を担う子どもたちの健やかな成長と確かな学力の習得のため、教職員の皆さんがそれぞれのお立場で、日々ご苦労・ご尽力されている声をお聞きし、これまで以上に子どもたちと向き合える時間を確保することができる環境づくりに、微力ながら力を尽くしてまいります。

皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



モチベーション

県立学校課長 番 留 幸 雄

県立学校課は、高校教育係、特別支援教育班、教育改革推進班、学事係から成り、高校教育及び特別支援教育の充実、県立学校の教育改革の推進、就学支援等の学校事務全般などに取り組んでいます。

各高校等では、新学習指導要領のスタートを契機に、ICTの利活用等による授業改善や観点別評価、総合的な探究の時間等における探究学習やキャリア教育の推進などに取り組まれています。こうした新たな取組や様々な教育活動、そして親身な面談などを通して、コロナ禍にある中、児童生徒のモチベーションの維持向上に尽力しておられますことに心から敬意を表します。

当課としましても、児童生徒の健やかな成長を願ひ、各学校への支援はもとより、本県教育の充実・発展に取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。



子どもたちの健やかな成長のために

保健体育課長 大 島 一 恵

当課は、食育の推進・学校給食、学校保健・学校安全、学校体育活動の充実と、児童生徒が「生きる力」を育み健やかに成長するための土台を支える仕事をしています。また、公立学校共済組合富山支部とともに、教職員の健康の保持増進にむけ、福利厚生事業を実施しています。

新型コロナ感染症は今なお警戒を要し、防災・防犯、薬物乱用防止、給食における異物混入防止や食物アレルギー対応、休日部活動の地域移行や体力向上など課題は多いですが、子どもたちが遅く成長できるよう、また、学校現場で日々ご苦労されている先生方のお力になれるよう、微力ながら努力してまいりますので、ご協力をよろしくお願ひします。

第3期 富山県教育振興基本計画について

令和4年3月に今年度から向こう5年間を対象期間とする「第3期富山県教育振興基本計画」が策定されました。基本理念を目指す姿として、「『真の幸せ（ウェルビーイング）』の向上」、「『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」を掲げています。

県教育委員会では、「第2期 富山県教育大綱」に掲げられた、新たに取り組むべき3つの横断的な取組みや10の重要テーマを踏まえ、「とやまの新しい教育」を創造し、「真の人間力」を育む本県ならではの質の高い教育を創りあげていきます。

第3期 富山県教育振興基本計画の概要

策定の趣旨	富山県教育振興基本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本県がめざす教育の姿（目標）や施策の基本的方向などを明確に示し、それらを確実に実現するために今後5年間に必要な教育施策や取組みを体系的に整理したものです。 この計画は、令和3年3月策定の「第2期富山県教育大綱」に即したものとします。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

対象期間	令和4（2022）年度 から 令和8（2026）年度まで 【5年間】
------	------------------------------------

基本理念	<p>ふるさと富山に誇りと愛着を持ち、地域社会や全国、世界で活躍し、未来を切り拓く人材の育成 — 真の人間力を育む教育の推進 —</p> <p>《目指す姿》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての県民が生き生きと自分らしく暮らせる「真の幸せ（ウェルビーイング）」の向上 ○SDGs（持続可能な開発目標）に掲げられた「質の高い教育」を目指し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3つの横断的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術革新やグローバル化など社会の変化に対応できるよう「課題解決型の教育」の展開 ● 社会全体のDX加速に応じた教育環境のデジタル化による「ICT教育」の推進 ● 地域社会とつながる、教え合い学び合う協働的な学び「チーム富山教育」の実現 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>技術革新やグローバル化など、変化の激しい予測困難な時代に柔軟かつ適切に対応できるよう、目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、解決策を生み出す資質・能力が強く求められています。</p> <p>このため、これからの本県の教育においては、こうした社会の変化に対応できる「課題解決型の教育」の展開や社会全体のDX加速に応じた「ICT教育」の推進、地域社会と連携した「チーム富山教育」の実現を目指して、次世代を担う子どもたちが社会に出て活躍できる力を育める最高の環境を与え続けていくことが必要です。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> <p style="background-color: #008000; color: white; padding: 5px;">3つの横断的な取組み</p> </div>
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

9つの基本方針	<10の重要テーマ>
<ol style="list-style-type: none"> 1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援 2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進 3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進 4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実 5 生涯を通した学びの推進 6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり 7 次世代を担う子どもの文化活動の推進 8 スポーツに親しむ環境づくりの推進 9 教育を通した「ふるさと富山」の創生 	<ol style="list-style-type: none"> (1) プロジェクト学習(PBL)の推進 (2) ICTを活用した教育の推進 (3) キャリア教育の推進 (4) 働き方改革の推進 (5) 不登校児童生徒の教育機会の確保 (6) 少人数教育の推進 (7) 幼児教育、特別支援教育の充実 (8) 高等学校の特色化・魅力化 (9) 外国人児童生徒教育の推進 (10) データサイエンス教育の推進

令和4年度 教育長訓示

4月8日(金)、教育長から県教育委員会事務局等の職員に訓示がありました。(オンライン配信)

荻布教育長からは、「改革マインドの共有」「ウェルビーイングの理念の共有」の2点について話がありました。「改革マインドの共有」では「改革マインドをもって仕事をしていくこと」、「地域に対して取組みを分かりやすく積極的に発信していくこと」の大切さについて話がありました。「ウェルビーイングの理念の共有」では、教育によるウェルビーイングの実現を目指し取り組んでいこうということ、個別最適な学び、協働的な学び、課題解決型学習などの学びは、予測困難といわれる未来においても、自分なりの解を考え、自分らしく幸せに生きることができるウェルビーイングを実現する力を育むためのものであるという考えを示しました。また、大村はまさんの著書『教えるということ』から事例を挙げながら、先生方には「魅力ある授業、感動のある教室」を目指してほしいと伝え、教育委員会はそれをサポートする役割を追求していきたいと述べました。

最後に、富山県の教育の伝統、「不易」の部分を大切にしながら、未来を担う子どもたちを育てる夢のある仕事だということに誇りと喜びを感じ、前向きに取り組んでほしいと訓示を締めくくりました。

とやま科学オリンピック2022

— むずかしいところがおもしろい — ～考えよう 楽しもう 科学の世界～

- ・ 中学校部門は、8月6日(土)午前に、4会場(魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校)で開催します。
- ・ 高校部門は、8月11日(木・祝)午前に、富山大学理学部、県総合教育センターで開催します。参加者は、数学、物理、化学、生物から1分野を選んで問題や実験に取り組みます。科学に対する生徒の興味・関心を高めるよい機会となっています。詳細は募集要項や県のホームページをご覧ください。



昨年度の中学校部門



昨年度の高校部門物理分野

ぜひ先生方も「過去の問題」に挑戦してみてください!



(とやま科学オリンピックHP)

親子でチャレンジ小学生ワクワク体験教室

8月20日(土)に、富山県総合教育センターを会場として開催します。対象は小学校、義務教育学校、特別支援学校5～6年生の親子です。

今年度は「クリップモーター」を製作・体験した後、(株)スカイインテックの見学を行う予定です。

詳細は募集要項や県のホームページをご覧ください。



クリップモーター製作

総合教育センター NOW

教育研修部

「令和4年度新規採用教員研修会(幼稚園教諭・保育教諭)」から

令和4年5月19日(木) 午後第2回研修会を開催しました。

講義と実習「幼児の事故予防と応急手当」では、日本赤十字社富山県支部の赤十字幼児安全法指導員の方から、身近にあるものを利用した、乳幼児の救命処置の手順やポイント等について教えていただきました。また、ペットボトルを用いて、各自で心肺蘇生法の練習をしました。実技「幼児期の基礎的な動きづくり」では、保健体育課の指導主事から、音楽に合わせて体を動かす遊びや、なわとびを使った遊びを通して、遊びが幼児の成長につながることを学びました。

受講者からは、「子どもは自分で体調の変化を伝えられなかったり、わからなかったりするの、小さな変化に大人が気づくことが大切だと思いました」「正しい手当の方法を知ること、落ち着いた行動につながると学びました。園では特にすり傷が多いので、正しい手当を実践し、子どもたちが安心できる環境をつくっていきたいです」「子どもにとって遊びとはいろいろなことを学べる機会なのだを再認識しました。遊びを通して子どもは成長するので、子どものためにたくさんの遊びを提供できるようにしたいと思いました」などの声が聞かれました。



講義と実習「幼児の事故予防と応急手当」



実技「幼児期の基礎的な動きづくり」

科学情報部

「デジタル理科室」リニューアル

～「授業づくり」・「自由研究」に活用してみませんか?～

ウェブページの「デジタル理科室」をリニューアルしました。

今まで蓄えてきたコンテンツを「ものづくり」「物理(小中高)」「化学(小中高)」「生物(小中高)」「地学(小中高)」等に分類、見やすく配置しました。

「その他」には、小中学校の「学習指導要領」の項目とデジタル理科室の「コンテンツ」の対応表が載せてあります。

各コンテンツは、サイエンスカー訪問活動等で培った「オリジナル教材」をはじめ、100円ショップやホームセンター等で入手しやすい身近な材料で、失敗なくできる、クオリティーの高い「ものづくり」や「実験・観察」が目白押しです。理科の「授業づくり」「自由研究」の題材等として、ぜひ活用ください。

写真横のQRコードを読み込むと各コンテンツにジャンプします。どうぞ、お楽しみください。



TOP (記事一覧) ものづくり 物理(小中高) 化学(小中高) 生物(小中高) 地学(小中高) その他



よく回る簡易モーター



しゃぼん玉あそび



観察器「みるべー」



熱気球作り



ペットボトルに漂う雲



風船がパークラフト作り

教育相談部

児童生徒本人や保護者、学校関係者からの相談をお受けします

- 富山県内の小学生、中学生、高校生を対象にしています。
- 発達に心配のある乳幼児についても相談をお受けします。
- 電話相談と来所相談があります。(来所相談は電話での予約が必要です)

月・金曜日 : 13:00~17:00
火・水・木曜日 : 9:00~17:00
E-mail : soudan@tym.ed.jp (受付のみ)

【学校生活等に関する相談(子ども育成)】

相談専用 TEL (076) 444-6167

【発達に関する相談(特別支援教育)】

相談専用 TEL (076) 444-6351

不登校・学業・進路

- ・登校しぶりがある
- ・学校生活になじめない
- ・授業についていけない
- ・進路について悩んでいる
- など

発達・学業・就学

- ・言葉が遅れている
- ・体の動きがぎこちない
- ・書くことに時間がかかる
- ・就学について悩みがある
- など

人間関係・気になる行動・家庭教育

- ・友達とトラブルになる
- ・生活態度や習慣が気になる
- ・順番を待つのが難しい
- ・ゲームやスマホに依存している
- ・急に予定が変わるとパニックになる
- ・特定の物や事柄にこだわる
- など



たくましく生きる力を持った“富山の子ども”をはぐくむため、意欲と情熱のある人を求めています。

検査の概要

1. 受検区分

〔一般選考〕と〔特別選考〕〔社会人経験A〕〔社会人経験B〕〔教職経験〕〔特定資格〕〔国際貢献〕〔スポーツ実績〕〔障害者〕〔大学推薦〕

2. 今年度実施の教員採用選考検査の変更点

- ①特別選考「教職経験」の受検要件を見直し、定年前離職者を対象に追加しました。
- ②特別選考「大学推薦」において、大学数を拡大しました。
- ③特別選考「大学推薦」の対象種目・教科(科目)を、小学校、中学校・高校(「国語」「理科」「家庭」「農業」「工業」「水産」「技術」「情報」「福祉」)及び特別支援学校へと拡大しました。
- ④特別選考「大学推薦」において、中学校・高校「工業」「情報」「技術」の枠を設け、条件をみだす全国全ての大学から推薦を受け付けました。
- ⑤特別選考「社会人経験B」において、受検種目・教科(科目)に中学校・高校「農業」「技術」「家庭」「水産」を追加するとともに、「工業」の受検資格要件を緩和しました。

3. 志願状況

	小学校	中学校 高等学校	特別支援 学校A	特別支援 学校B	養護教諭	栄養教諭	計	
一般選考	195	329	27	18	44	20	633	756
特別選考	50	56	10	3	4	0	123	
前年比	△18	+20	△4	+9	△9	+4	+2	

4. 検査期日

第1次検査：令和4年7月16日(土)・17日(日)

第2次検査：令和4年8月20日(土)・21日(日)

5. 合格発表

第1次検査合格者の発表：令和4年8月中旬まで

合格者(名簿登載者)の発表：令和4年9月中旬

5. 採用予定人数

一般選考・特別選考合わせて330名程度(特別選考「障害者」若干名を含む)



第1回とやま親学び推進協議会を開催

5月23日(月)に開催した「第1回とやま親学び推進協議会」では、親学び推進事業に携わる学校、PTA、市町村教育委員会、推進リーダー等が集まり、「開催しやすく、多くの保護者が気軽に参加できる親学び講座」について協議を行いました。

コロナ禍で保護者同士の横の繋がりが弱まっているからこそ、親が子供を話題にして繋がることのできる親学び講座の必要性が感じられます。また、親学び講座は、先生と保護者の距離を縮めるよいチャンスにもなります。昨年度は、開催方法を工夫しながら約1万9千人が参加しました。

幼保や小中学校の要望、発達段階に応じたいろいろなやり方を提案できるよう、県教委では、市町村教育委員会やPTAと連携しながら、親学び講座の周知、推進リーダーの育成を目指しています。



第1回とやま親学び推進協議会

秋入学のチャンスがあります! 定時制高校

令和4年度富山県立高等学校定時制の課程(単位制後期)入学者選抜について

実施校 新川みどり野高等学校、雄峰高等学校、志貴野高等学校、となみ野高等学校

志願期間 9月1日(木)から9月5日(月)までの間(日曜日及び土曜日を除く。)、毎日午前9時から午後4時までとする。ただし、9月5日(月)は正午までとする。

検査実施期日 9月9日(金)

合格者の発表 9月13日(火) 午後0時30分

連絡先 県立学校課 高校教育係 TEL (076) 444-3450 内線4615



時代を生きた先人のところをあなたの感性で表現しよう

令和4年度「高志の国文学」情景作品コンクール 作品募集

①文芸部門(散文・詩・短歌・俳句) ②美術部門 ③写真部門

美しく豊かな富山の自然や風土の中で生まれた富山ゆかりの「高志の国文学」に触れ、心に残る情景や心情を表現した中学生・高校生の作品を募集します。応募期間は6月20日(月)～9月5日(月)です。詳しい実施内容等については、募集要項や県のホームページをご覧ください。



昨年度 美術部門 知事賞
(中学生の部)
「あいたい」



昨年度 写真部門 知事賞
(高校生の部)
「あぶら火の光に見ゆる」

～みんなで食育の充実を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

「毎日しっかり朝ごはん」運動

朝食を食べる習慣を身に付け、朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

朝食の役割や大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・義務教育・高・特別支援学校に「食育カレンダー」を配付しています。また、9月からの指導に活用できるように、8月中に小学1年生用食育教材「食育ランチマット」を配付しています。

「とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）」の調査項目から得られる朝食欠食率に関しては、本県では継続した取組の成果が現れているものの、限りなくゼロに近付ける努力が今後とも必要です。また、「朝食内容」の栄養バランスは、全小・中学生のうち、50.8%が「黄（炭水化物）・赤（タンパク質）・緑（野菜・果物）」、43.7%が「黄・赤」または「黄・緑」の朝食を摂取しており、計94.5%が体を目覚めさせ、脳を活発に働かせる「炭水化物とおかず」の組合せであることが分かりました。（令和3年度調査結果より）

今後とも、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるように、引き続き指導をお願いします。



【食育カレンダー】



【食育ランチマット】

<朝食欠食率（「第4期富山県食育推進計画」の目標指標）>

	策定時(H28)	現状(R3)	目標
●朝食を欠食する子どもの割合（小学校5年生）	0.8%	→ 1.1%	→ 限りなくゼロに
（中学校2年生）	2.0%	→ 2.3%	→ 近づける

栄養教諭等と連携し、学校教育活動全体の中で食育の推進を

食育の取組のさらなる充実に向けて、第4期富山県食育推進計画（令和4年度～8年度）が策定されました。人間が生きるためには、食は欠かせないものです。児童生徒が望ましい食習慣を身に付け、健やかな心身と豊かな人間性を育むためにも、一層の食育の推進が望まれます。コロナ禍の状況下で未だ制約のある生活がありますが、各学校では、栄養教諭等と連携して作成した「食に関する指導の全体計画」を基に、学校給食を生きた教材として活用する等、学校教育活動全体を通じて、食に関する指導を組織的・計画的に推進されますように、よろしくをお願いします。

毎年作成し、県内の全小・中・義務教育・特別支援学校、県立の給食実施高等学校に配付している「食に関する指導実践事例集」（学校給食指導者作成）には、給食主任と栄養教諭等が連携した実践事例を数多く掲載しています。ぜひご活用ください。

ストレスチェックについて — 教職員のメンタルヘルス —



自分で心の健康状態をチェックすることは、ストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止に役立ちます。ストレスチェックを受検し、自分の健康は、まずは自分で守りましょう。

※実施期間：令和4年7月1日～令和4年8月10日

心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方が365日いつでもできる心のセルフチェックシステムをインターネットで提供しています（利用時間 6:00～24:00）。初回の利用時は、「共済フォーラム」「福利とやま5月号」に記載されているログインID・パスワードでログインしてください。

<https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

教職員・心の健康管理医による個別相談

県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医に委嘱し、無料の個別相談を実施していますので、お気軽にご相談ください。

※利用について詳しいお問合せは、

保健体育課（076-444-3460） または 公立学校共済組合富山支部（076-432-7176）まで

インフォメーション

場所 内容 対象 募集人数 応募要領
 募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

随時
受付

富山県埋蔵文化財センター

☎076-434-2814

出前授業・来館学習

期日 次の期間を除く月～木曜日（金曜休館）
9/26～10/6、1/27～2/3、年末年始（12/28～1/4）

☑ 出前授業では、小中学校等に出向き、本物の土器や石器に実際に触れ、とやまの歴史を学びます。希望に応じて火起こしや勾玉作りなどの体験も実施します。また、来館学習も随時受け付けています。（金曜日は応相談）



出前授業

第71回富山県民謡民舞大会「ふるさと民謡民舞まつり」

日時 令和4年11月12日（土）13:00開演（12:30開場）

場所 黒部市国際文化センター コラーレ カーターホール（黒部市三日市20番地）

主催 富山県民謡民舞連盟（生涯学習・文化財室）
（一社）富山県芸術文化協会

入場
無料

富山県民謡民舞連盟では、本年度も富山県民謡民舞大会を開催します。

大会では、県内に伝承されている民謡民舞が一堂に会し、日頃の練習成果を発表するだけでなく、大会のオンライン配信もあわせて実施します。詳しいお問合せは、連盟事務局（生涯学習・文化財室 TEL：076-444-3456）まで。ぜひ、ご覧ください。



過去の大会より

申込不要
入場無料
(大型講座は
有料・要申込)

富山県生涯学習カレッジ本部 問☎076-441-8401

第34回 県民カレッジ学遊祭

期日 令和4年10月1日(土)

所 富山県教育文化会館

内 県民カレッジの講座受講者、生涯学習団体および一般県民が集い、学習成果の発表や展示を行います。また、14時より森田豊氏の講演会「知って得する心と体の健康法」を開催します。(9月1日申込開始予定) 感染防止対策のためマスク着用でのご来場をお願いします。

HP <https://www.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>



令和3年度開催風景

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ富山地区センター

問☎076-441-0301

令和4年度県民カレッジ富山地区センター学遊祭

期日 11月5日(土) 9:00~17:00

内 雄峰高校「学園祭」と同時開催予定です。生涯学習団体等の作品や活動報告を展示します。なお映写会(映画)の鑑賞を希望される方は、事前にご連絡ください。感染防止対策のため、マスク着用でのご来場をお願いします。



令和3年度開催風景

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ新川地区センター

問☎0765-22-4001

第22回 新川キャンパスフェスティバル

期日 10月29日(土)

内 社会人受講者と新川みどり野高校の生徒が、学習の成果を展示・発表します。感染防止対策のためマスク着用でのご来場をお願いします。

所 新川みどり野高等学校 / 県民カレッジ新川地区センター



令和3年度 展示の様子

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター

問☎0766-22-5787

令和4年度 ウイング・ウイング祭

期日 11月4日(金)~5日(土) 9:00~17:00

内 高岡駅前の複合ビル「ウイング・ウイング高岡」に入居する県民カレッジ高岡地区センターや高岡市生涯学習施設等が連携して開催。学習成果の展示等を行います。マスク着用でのご来場をお願いします。



令和3年度 展示の様子

入場
無料

富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター

問☎0766-61-2020

第22回となみキャンパスフェスティバル

期日 11月5日(土) 9:00~15:30

内 となみ野高校生と社会人受講者の学習成果を作品展示等で発表します。また、砺波地区生涯学習団体や当センターの活動紹介展示などを行います。感染防止対策のためマスク着用でのご来場をお願いします。



令和3年度発表風景

インフォメーション

■場所 ■内容 ■対象 ■募集人数 ■応募要領
■募集締切 ■参加料 ■ホームページ ■問い合わせ

入学生
募集

放送大学富山学習センター

☎0766-56-9230

令和4年度10月入学生の募集

期日 6月10日(金)～9月13日(火) (インターネット出願可)

☑放送大学は、インターネット等を通じて、働きながら1科目から学べる通信制大学です。上位免許や特別支援学校教諭免許状等を取得するための科目も開講しています。



第39回「とやま賞」贈呈式

第39回「とやま賞」贈呈式が5月23日(月)パレブラン高志会館で行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、新田富山県知事が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。贈呈式後には受賞者による記念講演が行われ、業績の内容や今後の抱負などを分かりやすくお話しいただきました。

「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られます。詳しくは財団ホームページをご覧ください。 <https://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/>



第39回「とやま賞」受賞者(敬称略、五十音順)

- 学術研究部門 【医薬分野】 箭原 康人(大阪大学)
【理工分野】 藤井 一至(国立研究開発法人森林研究・整備機構)
【人文社会分野】 水野 真理子(富山大学)
- 科学技術部門 谷保 佐知(国立研究開発法人産業技術総合研究所)
寺島 修(富山県立大学)

